

普及活動情勢報告（令和3年1月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

ポンカンの光センサー選果目慣らし会を開催



12月25日、JA高知県安芸地区果樹部ポンカン部会は、安芸市のJA加工場で、光センサー選果目慣らし会を開催し、安芸市・東洋町・室戸市の生産者や関係者12人が参加しました。

光センサー選果目慣らし会の結果は、特選品からA品までの4階級とも例年通りで問題ありませんでした。

そして出荷計画の情報共有を行った他、JAから本年のポンカンの生育概況、農業改良普及課室戸支所からは着色促進試験結果について報告しました。

今年はポンカンの酸抜けが早い傾向のため、室戸支所は巡回指導等を通じて、ポンカンが完全に着色したら早めに出荷するよう生産者に呼びかけます。

更なる収量・品質の向上 ～芸西集出荷場で営農相談を開催～



JAと農業改良普及課は、令和3園芸年度から毎月1回、芸西集出荷場に出荷に来たナス生産者を対象に、営農相談を実施しています。1月14日の相談日は、農薬の適正使用（JA）、かん水管理と病害防除（農業改良普及課）について、53人の生産者に情報提供しました。

かん水管理について、生産者は「栽培の基本」、「地温も気にしないといけない。」と話し、また農薬や病害防除については、黒枯病に適用拡大になった殺菌剤やハウスの除湿方法について質問をしていました。

今後も農業改良普及課はJAと連携し、コロナ対策をとりながら、対話型の普及指導活動に力を入れていきます。

北川村でユズ定植講習会を開催



1月15日、北川村でユズの定植講習会を開催し、生産者や研修生、関係者ら11人が参加しました。

農業改良普及課は定植時の「列植図」の例を示して説明し、定植前から長期的な視点を持って、栽植密度や縦列方向等の計画を立て、省力機器の導入や作業効率の向上も考えることが重要であると指導しました。

栽培面積を増やす予定で、省力機器の導入を検討している生産者は、真剣にメモをとっていました。

農業改良普及課では、今後もサポート、アドバイスをしながら、将来を見越した栽培管理を指導していきます。

CO₂施用で‘カサブランカ’の茎もカッチカチやぞ！！
～安芸地区花卉部安芸支部球根部会～



農業改良普及課は、炭酸ガス施用がオリエント系ユリ‘カサブランカ’の品質に及ぼす効果を確認するため安芸市のユリ生産者ほ場を実証ほを設置し、1月19日に切り花の品質（茎の堅さ）を調査しました。専用の分度器を用いて調べた結果、ユリの茎が堅い傾向が確認されました。

生産者は「茎が堅くなった影響もあり、以前より秀品率が上がっている感じがする」と話し、炭酸ガス施用による品質向上に手応えを感じていました。

農業改良普及課は、今後も農業技術センターやJAと連携して、施設花き栽培での炭酸ガス施用技術を推進し、切り花産地の振興を図ります。